

## 団体名：農業後継者ふれあい市場「稚媛の里」

代表者：安井 正

所在地：岡山県赤磐市馬屋

### 〔ポイント〕

農業後継者グループ「若葉会」のメンバーの呼びかけで、平成12年4月、取り組みに賛同したメンバー4名により「ニューファーマーズ山陽」を設立、13年4月、『農業後継者ふれあい市場「稚媛の里」』を開設、平成15年には法人化し有限会社。平均年齢34歳の若い熱意あふれる農業後継者が直売所を設立

店舗の運営を役員である農業後継者が行い、接客・販売も行うことで、消費者ニーズに敏感に反応し、農産物の生産に反映。

開設6年目を迎え、直売所のレベルアップを意欲的に進めている。主力商品である桃とぶどうは、県内の他産地との差別化を図るため、農産物としての品質向上（糖度）はもちろん、商品としての品質向上（規格、荷姿）にも気を配り、進物用として重宝されている。

また、新鮮野菜を求める消費者に対応し、野菜の周年出荷体制の強化。

米は、地域資源である米ヌカを雑草防除等に活用した特別栽培米の生産に取り組む。

直売所は、兼業農家でも販売気軽に手段で生産意欲が増して、定年帰農者や女性農業者は、生きがいとなっている。

・桃やぶどうの試食会、新米まつり、餅つき大会など、「旬」への理解を深めるためのイベントを毎年開催し消費者と生産者の交流を深める。

### 【活動の内容】

#### 1. 地産地消を活かした産地づくり

地域特産物である桃とぶどうは、高品質（糖度）、消費者が購入しやすい規格や荷姿を整備、販売面は、消費者を配慮した産地づくり。

#### 2. 生産者と消費者の交流活動

「旬」への理解を深めるためのイベントとして、桃やぶどうの試食会、新米まつり、餅つき大会などを毎年開催。役員を中心に生産者が日頃の店舗での販売活動を行うことで、消費者からの意見を直接聞く、アンケート調査を積極的に実施して、消費者のニーズを反映させた店舗づくりを実施。

#### 3. 生産・販売技術の向上・普及に取り組む人材の養成（後継者育成）

生産面では、関係機関と連携して、現地巡回指導や栽培講習会を実施して技術力の向上に努めている。販売面では、先進地視察研修会や専門家を招いての講演会（POP作成や接客等）などを開催して、生産者の販売力向上にも力を入れている。

### 【活動の成果】

#### 1. 農業後継者が中心となって店舗運営を行い、若者のがんばる姿に地域住民にやる気と活気が生まれ、地域の活性化につながっている。

#### 2. 出荷者の意識改革

消費者交流会の開催やアンケート調査など消費者ニーズを捉える活動を実施した結果、「畑でできたものを売る」という考え方から「消費者が求めているものを生産する」という考え方に出荷者の意識改革。

#### 3. 地元で穫れたものを地元で売る地産地消活動を通じて、地元資源を有効に利用。